

4月市長定例記者会見

日時：令和5年4月11日（火） 午前9時30分
場所：掛川市役所5階 全員協議会室

1 開 会

2 市長話題提供

- (1) 県内2例目「オーガニックビレッジ宣言」 【お茶振興課】 資料1-1
- (2) 中学校の市内統一新制服 小中学生の投票はじまる 【教育政策課】 資料1-2
- (3) 2年連続で「ごみ減量日本一」 【環境政策課】 資料1-3
- (4) 9年ぶり 海外姉妹都市「横城郡」郡守ら掛川訪問 【企画政策課】 資料1-4

3 報告事項

- (1) 3年連続待機児童ゼロ達成 令和5年度の就園状況 【こども希望課】 資料2-1
- (2) 静岡県・政令市以外初 掛川市ひきこもり地域支援センター「きみいろ」開設
【福祉課】 資料2-2
- (3) 大河ドラマ効果 掛川城入場者倍増 【文化・スポーツ振興課】 資料2-3

4 情報提供(主な行事について)

- (1) 第31代掛川茶PRアンバサダー6名が市長表敬訪問 【お茶振興課】 資料3-1
- (2) 観光振興計画策定及び観光パンフレット刷新 【観光交流課】 資料3-2
- (3) J.D. LEAGUE2023 シーズン開幕
NECプラットフォームズ女子ソフトボール部 ホーム初戦に挑む
【文化・スポーツ振興課】 資料3-3
- (4) 掛川城ライトアップLED投光器 三菱電機照明株式会社から寄贈
【維持管理課】 資料3-4
- (5) SDGsに向けて加速 (株)ホテルクスと包括連携協定締結
【企画政策課・環境政策課】 資料3-5

5 議会日程

全員協議会 4月21日（金）午前9時～ 全員協議会室

6 質疑応答（進行：幹事社 静岡朝日テレビ・中日新聞）

7 閉 会

市長定例記者会見 令和5年5月11日（木）午前9時30分～

県内2例目「オーガニックビレッジ宣言」 ～生涯学習都市のSDGsな農業を推進します～

市内初・中東遠初・**県西部初**・県内初・全国初・珍しい

【概要】

国は持続可能な農業を実現するため、令和3年に「みどりの食料システム戦略」を策定しました。戦略では、2050年までに耕地面積に占める有機農業取組面積の割合を25%（100万ha）に拡大することを目指しています。この目標を実現するため、農林水産省は「有機農業産地づくり推進交付金」を創設し、昨年、県内で初めて掛川市が採択されました。

この度、有機農業を地域ぐるみで推進するための「有機農業実施計画」を策定し、SDGsを推進する掛川市として、有機農業に積極的にチャレンジすることを広く示すため、市長による「オーガニックビレッジ宣言」を行います。

【アピールポイント】

- ・県西部地域初のオーガニックビレッジ宣言（県内2例目）
- ・生産者のみならず、加工・流通、小売店等の事業者や市民による地域ぐるみの取組で有機農業の拡大を目指します。

1 掛川市有機農業実施計画（詳細は別紙計画書）

本計画は、有機農業実践者、農協、茶商組合、市内スーパー・直売所、消費者協会、農業委員会、静岡県等の関係者で構成する策定委員会で検討を重ね策定しました。

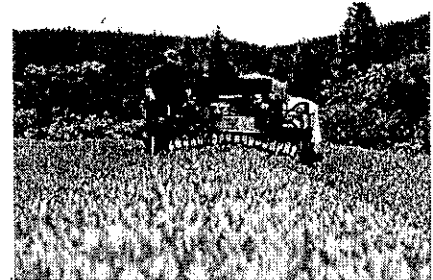
計画では、5年後に目指す目標、有機農業の生産段階の推進の取組、流通、加工、消費等の取組、取組の推進体制について定め、生産から消費まで一貫した取組を推進するための内容となっています。

2 オーガニックビレッジ宣言（詳細は別紙宣言書）

私は、みどりの食料システム戦略に沿って、有機農業推進の取組を起点とし、市民全体で持続可能なまちづくりをしていくことを誓い、掛川市がオーガニックビレッジであることを宣言いたします。

令和5年4月11日

掛川市長 久保田 崇



3 令和5年度の事業

- ・計画を推進するための体制を構築
- ・有機農業の技術向上のための講師招聘
- ・品質向上を目指した有機肥料実証実験
- ・子供に対する食育の一環としての有機茶の提供
- ・有機農業をPRするためのマルシェの開催



4 資料の添付

- ・オーガニックビレッジ宣言
- ・掛川市有機農業実施計画

5 その他

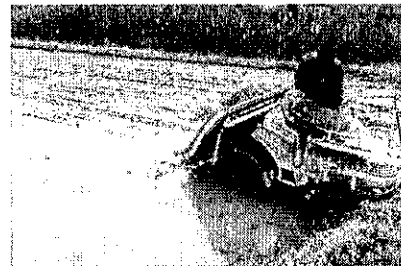
有機農業PR動画「有機とすすむ Kakegawa」



YouTube



instagram



■本件に関する担当者

お茶振興課お茶振興係 掛川・杉山 (電話0537-21-1216)
農林課農政係 曾田・鈴木 (電話0537-21-1147)

◆あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。◆

掛川市



雄大な自然が広がり温暖な都市である掛川市では、お茶をはじめ、水稲、野菜、施設園芸等、地域の特性を生かした多様な農業が営まれています。

また、全国で初めて「生涯学習都市宣言」を行い、報徳の精神に基づくまちづくりを市政運営の理念としています。さらに「SDGs未来都市」に選定され、市民協働によるサステナブルなまちづくりを推進しています。

将来にわたり安心して暮らせる環境を継承するために、農業分野においても環境に配慮した取組が世界的に求められる時代にあって、SDGsを推進する当市は、有機農業に積極的にチャレンジしていきます。

私は、みどりの食料システム戦略に沿って、有機農業推進の取組を起点とし、市民全体で持続可能なまちづくりをしていくことを誓い、掛川市がオーガニックビレッジであることを宣言いたします。

令和5年4月11日

掛川市長 久保田 崇

掛川市 有機農業実施計画

1. 市区町村
掛川市
2. 計画対象期間
令和5年 ～ 令和9年
3. 対象市区町村における有機農業の現状と5年後に目指す目標
<p>ア 有機農業の現状</p> <p>平成17年4月に旧掛川市、旧大東町、旧大須賀町の1市2町の合併により誕生した掛川市は、静岡県の二大都市である静岡市と浜松市の間に位置する県西部の都市であり、北は南アルプス最南端の八高山と大尾山の峰から南は遠州灘まで、雄大な自然が広がる温暖な都市である。昭和54年に旧掛川市で全国に先駆けて「生涯学習都市宣言」が行われ、現在でもその理念が根付いている（合併後の平成19年12月に、この精神を引き継いだ「生涯学習都市宣言」を制定。）。掛川市における生涯学習は、個人の学びを自己の充実のみならず、まちづくりに生かしていこうという大きな特徴がある。</p> <p>本市の農業については、恵まれた自然環境の下、北部のお茶、南部の大規模水田、砂地を利用した露地栽培、施設園芸等、地域の特性を生かした多彩な農業が営まれており、その中でも茶は当市の基幹作物となっている。有機農業については、現在（令和3年）、61.6ha（実践者44経営体）で取組みが行われており、市内の経営耕地面積全体の約2%となっている。このうち茶は、平成28年度から茶の輸出促進を図るため有機JAS転換を図る生産者の支援を行っていることから、取組面積は38.7ha（実践者38経営体）となっており、他の作物においては、水稻12.4ha（4経営体）、野菜等10.5ha（2経営体）となっている。</p> <p>現在、持続可能な社会の実現のための取組みが多方面で求められている。国は農業分野における取組として「みどりの食料システム戦略」を令和3年5月に策定した。</p> <p>「生涯学習都市宣言」をした掛川市は、市民と行政相互の協働によるまちづくりを基礎としながら、この戦略に沿って生産者、流通・小売業者、消費者、学校教育、行政等が一体となった、持続性の高い農業生産に取り組むオーガニックビレッジの実現を目指していくことが必要である。</p>

一方、有機農業の課題は山積している。まず挙げられるのは、栽培知識・技術や生産物販売出口の不足である。また、有機農業転換期間中にかかる労力は価格に転嫁しにくく、コストがかさみ経営が安定しないため、慣行栽培からの転換が敬遠される傾向にある。こうした状況が栽培面積拡大や新規就農者の参入に対する障壁となり、有機農業拡大の阻害要因となっている。

他方、有機農業により生産された農産物には、一定の需要があることも確かである。特に茶は、近年輸出が好調のためオーガニック茶に対する需要は高く、市場取引においても慣行栽培の茶に比べ高値で取引されている。また、市内の農産物直売所からは有機野菜を求める声や、健康志向やエシカル消費といった社会的な動向が示すように、近年の消費サイドの有機農作物への関心は高まっている。これらの動向は生産・流通・小売等、どの分野においても認知されており、栽培技術の指導や転換期間中の生活支援を行い、同時に流通経路や販売出口を整備すれば、有機農業が拡大する余地があることを示している。

イ 5年後に目指す目標

○有機農業面積の拡大 61.6ha (R3) → 83.2ha (R9)

【	※品目別の内訳	茶	38.7ha (R3) → 52.3ha (R9)	】
		水稻	12.4ha (R3) → 16.7ha (R9)	
		野菜等	10.5ha (R3) → 14.2ha (R9)	

○有機農業者数の増加 44 (R3) → 62 (R9)

4. 取組内容

ア 有機農業の生産段階の推進の取組

新規就農者の受入・支援体制の構築

有機農業の新規参入を増やすために、研修会の開催や転換中の費用補助、圃場のあっせん、必要に応じた住まい等の紹介等により市内外からの有機農業参入者(就農者)の確保を図る。

栽培技術指導の支援・共有

自然栽培や化学肥料、化学農薬を使わない有機農業は、その土地に根差した営みであり、地域固有の知識が要求される実践である。栽培技術指導や情報共有は必須であるため、栽培講習会の実施や情報交換のための仕組みづくりを行う。

有機専用モデル区画の整備

掛川市内の有機圃場は慣行栽培と隣接している箇所も多いため、農薬の飛散や近隣との交渉が課題となっている。そこで、有機農業専用の区画を設け、安定した有機農業生産のための基盤を整える。

肥料の地産地消の取組

循環型の農業を実現するため、地域固有の取組として肥料の地産地消を検討する。市内の畜産農家や事業者等との連携を通じ、新たに活用が期待される廃棄物等を利用しながら、持続可能な資材供給体制を構築する。

イ 有機農業で生産された農産物の流通、加工、消費等の取組

消費促進の取組

有機農産物の消費拡大を図るため、マルシェの開催や直売所及び小売店で販売コーナーを設置する。多くの消費者が有機農産物に触れ合い、理解を深める機会を設けることにより消費を喚起する。

情報発信

一般消費者に有機農業の魅力を知ってもらうため、また有機農業への新規参入を促すためにパンフレットや SNS を用いた情報発信を行う。写真や動画といった視覚的な情報発信を通じて、世代や地域を越えた広範な消費喚起を狙う。

茶の輸出拡大

茶の海外輸出は年々増加しており、今後も拡大が予想される。海外で求められるオーガニック茶の製造を拡大することが必要であり、有機農業（JAS 認証取得）への転換支援、茶商社と連携しての輸出体制の整備を進める。また、輸出において特に好調なのは、抹茶（粉末茶）であることから、煎茶製造が主流の当市においても、有機碾茶・抹茶製造拡大に向けた実効性のある取組を検討、推進する。

学校給食での提供・学校での学習機会の創出

有機農産物を学校給食の食材として提供することで、小中学生に有機農業を身近に感じてもらい機会を創出する。給食での提供とあわせて学習や農業体験を行うことで、食育の一環として、五感を通じた有機農業の学習と、自然との触れ合いの機会を設ける。

進捗管理と学習する機会の確保

有機専用モデル区画でのオーガニックビレッジの進捗状況の可視化を図るとともに、景観保護区域をつくりながら、観光の側面を取り入れた体験圃場の整備により、環境や農業が一体的に学べる場所を確保する。

マーケティング人材の育成

有機農業生産者と販売者を繋ぎ、「掛川オーガニックビレッジの農産物」の販売活動ができるマーケティング人材の育成と仕組みづくりを行う。有機の野菜づくりは病害虫の大発生を防ぐため多品目栽培が一般的であり、市場流通に適さないなどの課題解消を図る。地域おこし協力隊をはじめ、地域を起点に活動を行う人材との連携により、生産者と販売業者の橋渡しをスムーズに行うことで、効果的な実施を目指す。

EC サイト等を活用した販売経路の多様化

生産者や流通業者に対し、EC サイト設置や加入を促すことで、販売経路の多様化を図る。必要に応じ、専門家の派遣や EC サイト構築に関する費用を助成する等の支援を行う。

企業の農業参入への誘致

有機農業参入を検討している企業に対し広く呼びかけ、誘致を行う。また、飲食産業等からの働きかけに積極的に応えることで、有機農産物の安定した流通経路の確保に努める。さらには、法人に対し人材育成を支援することで、地域内での担い手の確保を促進する。

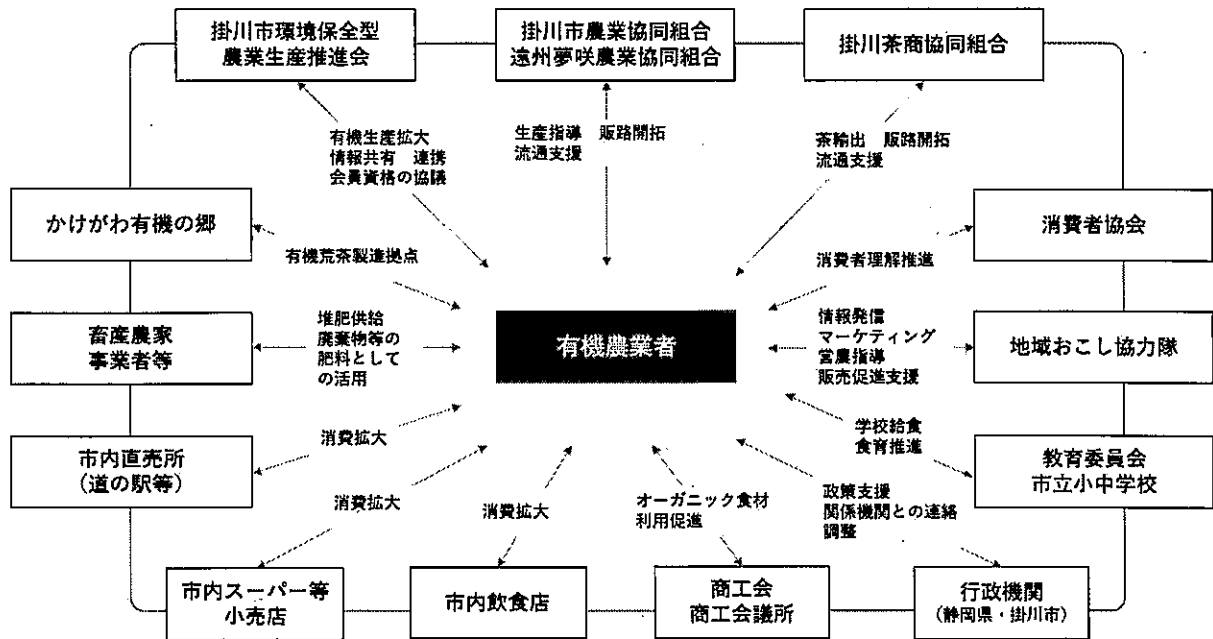
SDGs 認証制度の活用

一定の基準を満たした農業によって生産された農産物に対し認証を行う制度を活用する。市内の有機農産物の生産状況を把握したうえで、有機農産物が適切に流通・消費されるよう認証制度を設置する。必要に応じて、静岡県の創設する生産者 SDGs 認証制度等を活用しながら、より効果的な認証制度運用がなされるよう仕組みを整える。

5. 取組の推進体制図

ア 実施体制図

オーガニックビレッジ推進協議会（仮）として推進



イ 関係者の役割

○有機農業者

有機栽培の実践や試行的取組の実施、取組面積の拡大、販路開拓、有機農産物のPR
スマート農業技術の導入、担い手の確保

○掛川市農業協同組合・遠州夢咲農業協同組合

農業者に対する技術的支援・情報共有、流通経路の確保

○掛川市環境保全型農業生産推進会

有機農業者間の情報共有・連携、有機農業者拡大の取組
会員資格（環境保全型農業者の定義）について定める

○掛川茶商協同組合

有機農業茶の輸出、販路拡大

○かけがわ有機の郷

有機 JAS 認証荒茶の製造、碾茶製造の導入検討

○市内スーパー等小売店、市内直売所、市内飲食店

有機農産物の取扱、消費に向けた宣伝

○教育委員会・市立小中学校

学校給食における有機農産物の提供を見据えた、食育活動内での有機農産物の利用
児童・生徒、保護者の有機農業に関する知識の普及及び意識の醸成

○地域おこし協力隊

市内有機農業のPR活動、市民に向けた市内有機農産物の販売促進、
有機農業者のマーケティング活動に対する技術支援
有機農業者を目指す人への指導並びに支援（市民農園における有機野菜作りを含む）

○消費者協会

有機農産物に対する消費者理解の推進

○商工会議所・商工会

市内飲食店への市内オーガニック食材の利用喚起

○畜産農家・事業者等

堆肥の供給

廃棄物等の肥料としての活用

○行政機関（静岡県・掛川市）

有機農業実施計画実現のための支援・事務処理、各種連携機関との連絡・調整

6. 資金計画

別紙のとおり

7. 本事業以外の関連事業の概要

掛川市は有機農業に対する市独自の補助や環境保全型農業生産推進会の組織を通じて、生産者に対する支援を行っている。基幹作物である茶をはじめとして、水稻や野菜等、様々な品目が支援の対象である。また、より効率的かつ安定的な農業推進のため、静岡県の助言を受けながら市内の各地域にて農地基盤整備を推進している。

8. みどりの食料システム法に基づく有機農業の推進方針について

静岡県との協働により基本計画を作成し、計画に沿って推進を行う。

9. その他（達成状況の評価、取組の周知等）

達成状況は各関係機関からのヒアリングをもとに随時実施し、定量的・定性的に行う。生産・流通・消費に係る各取組は相互に連携させることで、より一層の効果を見込む。

資金計画

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
区分	<p>1. 生産の取組 8,550千円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 品質向上のための試験的施肥 栽培技術支援 有機専用茶工場運営補助 有機専用資材費等購入支援 <p>2. 流通・加工・消費等の取組 1,650千円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSでの情報発信 学校給食連携 消費拡大マルシェ開催 	<p>1. 生産の取組 8,000千円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培技術支援 新規参入支援 有機専用資材費等購入支援 <p>2. 流通・加工・消費等の取組 2,000千円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSでの情報発信 学校給食連携 市内スパー連携 生産者向けECサイト構築支援 マーケティング人材育成 	<p>1. 生産の取組 1,500千円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 有機農業の普及 新規参入支援 <p>2. 流通・加工・消費等の取組 1,000千円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費PR活動 マルシェ等実施 マーケティング人材育成 	<p>1. 生産の取組 500千円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 有機農業の普及 <p>2. 流通・加工・消費等の取組 1,000千円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費PR活動 マルシェ等実施 	<p>1. 生産の取組 500千円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 有機農業の普及 <p>2. 流通・加工・消費等の取組 1,000千円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費PR活動 マルシェ等実施

※4の取組内容に記載されているが資金計画に反映されていない予算については今後調整する。

掛川市記者会見 資料 1-2

中学校の市内統一新制服 小中学生の投票はじまる
～新制服デザイン候補の展示会開催 & 小中学生によるウェブ投票実施～

市内初・中東遠初・**県西部初**・県内初・全国初・珍しい

【目的・概要】

目的

子どもの声を反映させた新制服のデザイン選定をすること

概要

令和6年度に導入される掛川市立中学校の新制服のデザイン候補がスラックス2種類、スカート3種類に絞られた。最終的なデザインは児童生徒（小4～中3）のウェブ投票によって決定する。投票の参考としていただくため、小学生や保護者、市民の方が観覧できる展示会を開催する。

【アピールポイント】

新制服の候補となるデザインの制服を実際に見たり、試着したりすることができること
新制服のデザインを小中学生の投票で決定すること

- 1 場所・日時 掛川市役所1階 令和5年4月15日(土)午前9時から午後4時まで
大東図書館1階 令和5年4月16日(日)午前9時から午後4時まで
- 2 参加者 市民（小学生、中学生、保護者など）
- 3 駐車場 有
- 4 資料の添付 関連資料はホームページ上に掲載



<https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/267820.html>

■本件に関する担当者

教育政策課教育政策係 沢田・大原（電話 0537-21-1109）

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。✦

Kakegawa

掛川市立中学生の新しい制服を考えています。

掛川市教育委員会
教育政策課
TEL 21-1109
FAX 21-1222



Vol.8

令和5年4月1日

新制服のデザイン候補ができました
小・中学生のウェブ投票でスラックス・スカート、それぞれのデザインを決定します!



スラックス

①



掛川市のイメージ
お茶(みどり)
桔梗(むらさき)
を取り入れた掛川市だけの
オリジナルスラックス

②



濃い目のグレーで
汚れが目立たないスラックス
誰でも似合う無地スタイル

スカート

A



掛川市のイメージ
お茶(みどり)
桔梗(むらさき)
を取り入れた掛川市だけの
オリジナルスカート

B



高級感のある
霜降りグレーと控えめな
チェック柄で落ち着いた
イメージを与えるスカート

C



ひだの数が少なく
ページョのラインで
肌なじみの良いスカート

※ひだとは折り目のことでプリーツともいいます。
(A:20本、B:20本、C:16本です)



どれに投票しようか迷うね!
実際に見るのができればいいのになあ...

掛川市役所と大東図書館に
制服を展示します。ご家族で
ぜひお越しください!



展示会

4月15日(土)

AM 9:00 ~ PM 4:00

掛川市役所

1階ロビー エレベーター前



4月16日(日)

AM 9:00 ~ PM 4:00

大東図書館

1階 生涯学習ホール



申込
不要

お知らせ

- ・事前申込不要です。
- ・どなたでも両会場にお越しいただけます。
- ・展示時間内であればいつでも入場できます。
- ・混雑時はお待ちいただく場合があります。

小・中学生のウェブ投票について

- 1 投票期間
4月10日(月) ~ 22日(土)
- 2 投票方法
学校のiPadから投票
- 3 投票する人
小学4~6年生、中学生

新制服デザイン
投票
小4~中3
4月22日まで

ウェブ展示会

スラックススタイル



①



②



掛川市のイメージ
お茶(みどり)
桔梗(むらさき)
を取り入れた掛川市だけの
オリジナルスラックス

濃い目のグレーで
汚れが目立たないスラックス
誰でも似合う無地スタイル

スカートスタイル



A



掛川市のイメージ
お茶(みどり)
桔梗(むらさき)
を取り入れた掛川市だけの
オリジナルスカート

B



高級感のある
霜降りグレーと控えめな
チェック柄で落ち着いた
イメージを与えるスカート

C



ひだの数が少なく
ベージュのラインで
肌なじみの良いスカート

※ひだとは折り目のことでプリーツともいいます。
(A:20本、B:20本、C:16本です)

その他のポイント

ワイシャツだけでなく、ポロシャツも
着用できるようになります。



ポロシャツ

ワイシャツ



ボタンは掛川市の市章を取り入れました。
落ち着いた色(アンティークシルバー)です。

ジャケットの生地素材はさまざまなものを
採用できるようにします。柔らかなニット
素材や丈夫な素材、お求めやすい価格の
素材などのラインナップが生まれます。

中学生へのヒアリングでは、
**「実物は画面上の写真と印象
が違う」という声**が多数出まし
ました。ぜひ、展示会で実物を御覧
ください。



掛川市記者会見 資料 1-3

**掛川市が2年連続で「ごみ減量日本一」
～環境省令和3年度一般廃棄物処理実態調査～****【概要】**

環境省は、毎年、全国の一般廃棄物の排出及び処理状況等の調査（一般廃棄物処理実態調査）を行っており、3Rの取り組み上位市町村を発表しています（R5.3.30発表）。

掛川市は、人口10万人以上50万人未満の自治体におけるリデュース（減量）部門において、昨年度に引き続き、年間1人1日当たりのごみ排出量が最も少ない自治体となりました。

これまでの全国順位は、平成22年度と23年度が1位、平成24年度から29年度まで6年連続して2位、平成30年度が3位、令和元年度が2位、令和2年度と3年度が1位となっています。 ※参考資料参照

【分析結果】

- ・ 2年連続ごみ減量日本一、12年連続ベスト3を達成できたのは、自治体役員や平成13年度に発足したクリーン推進員による集積所における分別指導をはじめ、長年、市民協働によるごみ減量の取り組みを進めてきたことで、市民が高いごみ減量意識を持ち続けていることが最も大きな要因であると考えます。
- ・ 年間1人1日当たりのごみ排出量は622.6gで、前年度比6.5gの増となっています。その内訳は、生活系ごみが490.1g（前年度比2.1gの減）、事業系ごみが132.5g（前年度比8.6gの増）となっており、高い市民意識により生活系ごみが減少した一方、事業系ごみが増加しました。これは、コロナ禍を経て事業活動が活発化してきたことも要因であると考えます。 ※参考資料参照

【今後の取り組み】

- ・ 市民協働による様々な取り組みの継続と、指定ごみ袋への小学生の考えた標語の掲載など新たな取り組みを行っていくことで、更なるごみ減量を進めます。
- ・ 「おむつリサイクル・ごみ減量推進会議」を設置し、使用済み紙おむつ、生ごみ、製品プラスチック、剪定枝・落ち葉などを資源化する仕組みを研究するとともに、事業者等と連携して具体的な事業化に向けた検討を進めます。

【直近3年間の全国順位】

○リデュース部門（1人1日当たりのごみ排出量）

※人口10万人以上50万人未満

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
1位	静岡県 掛川市 622.6g/人日	静岡県 掛川市 616.1g/人日	東京都 小金井市 609.4g/人日
2位	東京都 日野市 630.7g/人日	東京都 日野市 648.1g/人日	静岡県 掛川市 627.2g/人日
3位	東京都 小金井市 635.3g/人日	東京都 小金井市 655.2g/人日	東京都 日野市 646.3g/人日
全国平均	890g/人日	901g/人日	918g/人日

●環境省一般廃棄物処理実態調査における過去の順位

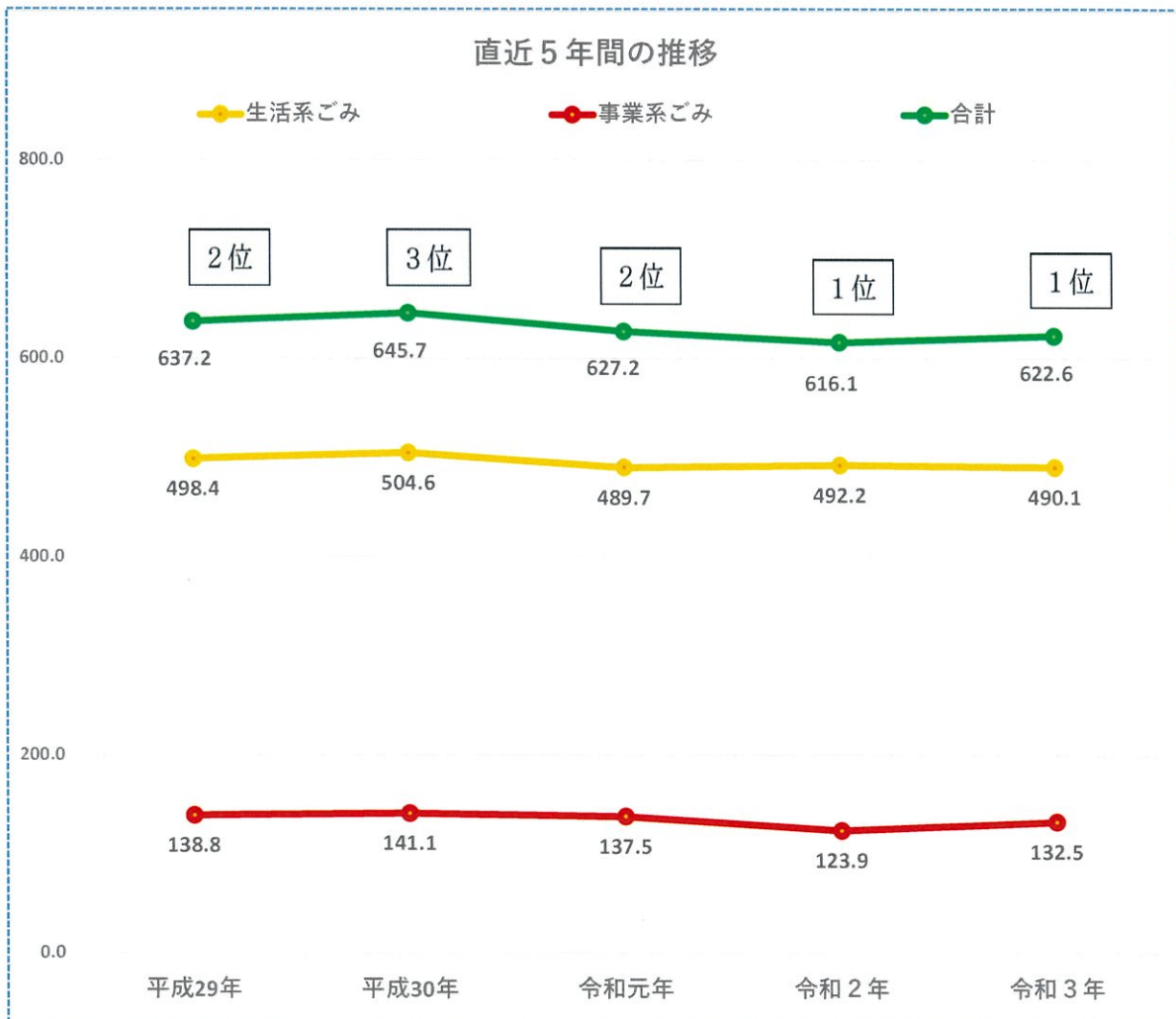
※人口10万人以上50万人未満の部

年度	平成22年 (2010年)	平成23年 (2011年)	平成24年 (2012年)	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成27年 (2015年)
順位	1位	1位	2位	2位	2位	2位
1人1日あたりのごみ排出量	642.5g	653.7g	651.3g	648.1g	651.1g	658.0g
年度	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)
順位	2位	2位	3位	2位	1位	1位
1人1日あたりのごみ排出量	641.2g	637.2g	645.7g	627.2g	616.1g	622.6g

●直近5年間の1人1日当たりのごみ排出量（生活系・事業系）の推移

(単位：g)

年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
生活系ごみ	498.4	504.6	489.7	492.2	490.1
事業系ごみ	138.8	141.1	137.5	123.9	132.5
合計	637.2	645.7	627.2	616.1	622.6
全国平均	920	919	918	901	890



9年ぶり海外姉妹都市「横城郡」郡守ら掛川訪問

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・珍しい

【日時・場所等】

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | と き | 令和5年4月24日(月) 13時30分～ |
| 2 | と ころ | 掛川市役所本庁 5階 応接室 |
| 3 | 訪 問 者 | 金 明起 (キム・ミョンギ) 氏 (横城郡守)、
金 英淑 (キム・ヨンスク) 氏 (横城郡議会議員) ほか横城郡職員 |
| 4 | 内 容 | 海外姉妹都市首長の掛川市長表敬訪問
(大韓民国江原道横城郡：カンウォンド フェンソングン) |

【アピールポイント】

- ・現横城郡守が就任後初めて掛川市を訪問されます。
- ・横城郡とは平成23年(2011年)11月に姉妹都市提携を締結し、10年以上の交流が続いています。
- ・令和元年度まで掛川市の職員が横城郡へ、横城郡の職員が掛川市へという相互交流職員研修を行っていました。

【目的・概要】

現在、掛川市には4つの海外姉妹都市があります。その中でもアジア圏で初となる姉妹都市となった大韓民国江原道横城郡は、平成23年11月に姉妹都市提携を結んでいます。今回、令和4年(2022年)7月に横城郡守に就任された金 明起 (キム・ミョンギ) 氏が就任後初めて掛川市長を表敬訪問されます。

【横城郡の概要】

大韓民国江原道に位置。面積は997.73 km²と掛川市(265.69 km²)の3.7倍ほどですが、人口は46,401人(2022年4月現在：同時期、掛川市は11万6,000人ほど)。

特産品は「韓牛(かんぎゅう)」や「つるにんじん」など。10月に行われている「韓牛祭」は国内外から多くの人が集まる一大イベントとなっています。

郡守(首長)は2022年7月より金 明起 (キム・ミョンギ) 氏。

【掛川市との関係】

横城郡とは、生涯学習をきっかけとし、両自治体の交流が始まり、生涯学習を理念とするまちづくりや行政運営を絆として、さらなる友好関係を結び、国際交流を推進するとともに、市及び市民の文化、産業等の交流を図るため、平成23年11月に姉妹都市提携を締結しました。

【今までの主な交流】

- 平成 20 年 1 月 横城郡生涯学習政策事例視察団が掛川市訪問
平成 20 年 6 月 掛川市職員が横城郡第 1 回横城郡生涯学習フェスティバル参加
平成 21 年 4 月 横城郡守韓奎鎬（ハンギョホ）氏ら代表団が掛川市長表敬訪問
平成 21 年 6 月 掛川市職員が横城郡守表敬訪問
（ I A E C アジア諸国ネットワーク会議参加講演）
平成 21 年 8 月 横城郡政策事例海外研修視察団が掛川市を訪問
平成 21 年 9 月 横城郡実務団訪問が掛川市を訪問
平成 22 年 9 月 横城郡守高錫龍（ゴソクヨン）氏らが掛川市を訪問
平成 22 年 10 月 横城郡議会議員団が掛川市を訪問
平成 23 年 7 月 掛川サッカー協会が韓国遠征のために高校生選抜チームを横城郡へ
平成 23 年 10 月 掛川市視察団が姉妹都市締結事前協議及び産業交流調査のため横城郡を訪問
平成 23 年 11 月 11 月 25 日 韓国横城郡庁舎にて姉妹都市協定書締結
平成 25 年 8 月 横城郡高郡守来掛、職員友好交流を含む追加協定締結を掛川市から提案し、了承。
平成 25 年 10 月 掛川市長、正副議長他訪問団横城郡訪問
平成 25 年 10 月 10 月 3 日 姉妹都市提携協定書一部追加（相互職員交流・災害時相互応援）及び「災害時相互応援協定」を締結
平成 26 年 11 月 横城郡守韓奎鎬（ハンギョホ）氏ら代表団が掛川市長表敬訪問
平成 27 年 10 月 第 4 次訪問団（伊村副市長団長）横城郡訪問
平成 27 年 10 月 10 月 7 日 職員相互交流合意書調印
平成 28 年度 職員相互交流 開始

<令和 5 年 4 月 11 日現在>

横城郡への訪問

訪問団 14 回延 124 人 その他 3 回延 83 人 職員交流 2 回 2 人
（インバウンド関係調査、韓牛祭時物産売り込み、外国語教育や教育施設視察、平昌パラリンピック合同応援など） 合計 209 人

掛川への受入

訪問団 19 回延 240 人（実務担当視察含む）職員交流 4 回 4 人
（両市職員による交流、日本文化の紹介、各種行政施策に関する意見交換など） 合計 244 人

【新型コロナウイルス感染症の影響】

主な交流として、平成 28 年度から始まった両自治体職員の相互派遣があり、掛川市から 2 年間で 2 人、横城郡からは 1 年間で 4 人の相互交流を行っていました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、訪問は令和元年度（2019 年度）を最後に中止しています。

【今後の交流の予定】

今回の郡守・議長の訪問では市内施設や観光施設等を訪問予定であり、その中で今後の交流についても協議を行っていく予定です。

■本件に関する担当者

企画政策課ダイバーシティ戦略室ダイバーシティ戦略係
平野・佐藤（電話 0537-21-1208）

★あなたの夢、★
描いたつづきは
★掛川で。★

【横城郡守経歴】

氏 名：金 明起(キム・ミョンギ)
任 期：2022年(令和4年)7月
～2026年(令和8年)6月



主な経歴（職歴）：

- ・(前) 農業協同組合中央会建物建設部長
- ・(前) 農業協同組合中央会総務部長
- ・(前) 農業協同組合中央会江原地域本部長
- ・(前) 農業協同組合中央会畜産担当上席
- ・(前) 農業協同組合情報システム代表取締役
- ・(前) 江原大学農業資源経済学科兼任教授
- ・(現) 国民の力横城郡党員協議会副委員長
- ・2022年に横城郡守に選ばれ、現在に至る。

掛川市記者会見 資料2-1

3年連続 待機児童ゼロ達成
～令和5年度の就園状況と分析～

令和5年4月1日現在の認可保育園等への就園状況について、これまでの経過や動向を分析したので報告します。

1 認可保育園等待機児童の状況

令和5年4月1日現在の国定義の待機児童は0人となりました。

(R4 : 0人、R3 : 0人、R2 : 5人、H31 : 21人)

- ・認可保育園等入園申込者数 (①) 2,808人 (前年比 2人増)
- ・認可保育園等入所者数 (②) 2,738人 (前年比 27人増)
- ・認可保育園等に入所できなかった方 (①-②) 70人 (前年比 25人減)

※70人の内訳等

	国定義の待機児童	0人	
国定義以外	認可外保育所入所	7人	施設入所
	幼稚園・預かり保育利用	19人	
	入所後求職予定	4人	在宅保育
	特定園のみ希望等	40人	
		70人	

2 待機児童解消対策

① 施設整備等による定員増加 (平成29年～令和5年)

- ・平成29年4月 : 定員 2,308人 (前年比 237人増)
- ・平成30年4月 : 定員 2,348人 (前年比 40人増)
- ・平成31年4月 : 定員 2,519人 (前年比 171人増)
- ・令和2年4月 : 定員 2,714人 (前年比 195人増)
- ・令和3年4月 : 定員 3,011人 (前年比 297人増)
- ・令和4年4月 : 定員 3,101人 (前年比 90人増)
- ・令和5年4月 : 定員 3,222人 (前年比 121人増)

② ソフト対策

- ・年度途中から入所を希望する児童の受け入れを円滑に実施するため、年度当初より保育士を確保する認可保育所、認定こども園、小規模保育事業所に対し、人件費を補助 (市単独事業・拡充)
- ・年度途中に増加する0歳児及び1・2歳児に備えて、保育士を年度当初から配置す

る認可保育所、認定こども園に人件費を補助（県補助事業）

- ・保育士の業務の負担軽減を図るため、保育士資格を持たない保育補助者の雇い上げに係る経費の一部を補助（国補助事業）
- ・国の無償化制度では、上限額が定められていて賄いきれない預かり保育料を助成し、利用者の経済的な負担軽減を図り、認可保育所の利用者との公平性を確保（市単独事業）
- ・掛川協働保育園等保育料助成事業による認可園との保育料負担差の解消（市単独事業）
- ・保育士等就職応援資金貸付事業の実施により 118 人の人材確保（H31～R4）
（新卒 37 人、転職、復職 81 人）
- ・「お仕事応援相談会」の開催により、28 年度から保育士等計 38 人の人材確保
- ・かけがわ乳幼児教育未来学会において、乳幼児教育・保育の質の向上のため、県の指定を受けて、キャリアアップ研修を実施（令和 3 年度～）

※上記に加え、令和 5 年度からは……

- ・人材確保策として、雇用する保育士用の宿舍を借り上げる法人に対し、経費の一部を補助する事業の実施
- ・4 市 1 町（掛川市、磐田市、菊川市、袋井市、森町）連携キャリアアップ研修を開催し、研修受講の機会を増やす及び保育士等の処遇改善を実施
- ・さかがわ幼稚園で「早朝・延長保育」の実施

3 まとめ

- ・家族形態や保護者の働き方など、子どもを取り巻く環境が多様化する中で、0～5 歳の人口に対する保育利用申込率^{*1}が増加している。保護者の就労と子育ての両立等を支援するため、多様化する保育ニーズに対応するとともに、子どもの福祉が尊重される保育環境づくりが必要である。（保育利用申込率^{*1}H24=26.8%→R4=50.6%）
- ・こどもまんなか社会の実現に向けて、4 月 1 日にこども家庭庁が発足した。6 月の「経済財政運営と改革の基本方針」（骨太方針）で示される予定の「こども政策の強化」に対応できるよう、市としても、地域の実情にそった施策を迅速に展開するための準備を進めていく。

（*1 保育利用申込率…保育利用申込者／0～5 歳人口）

■本件に関する担当者

こども希望部 こども希望課 岩本・伊藤（電話 0537-21-1205）

◆あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。◆

参考資料

●待機児童内訳(令和5年4月1日)

(人)

	全体	地区別内訳			国定義	国定義地区別内訳		
		掛川	大東	大須賀		掛川	大東	大須賀
5歳児	8	6	1	1	0	0	0	0
4歳児	11	11	0	0	0	0	0	0
3歳児	7	7	0	0	0	0	0	0
2歳児	9	7	0	2	0	0	0	0
1歳児	28	20	2	6	0	0	0	0
0歳児	7	7	0	0	0	0	0	0
計	70	58	3	9	0	0	0	0
R4.4	95	77	8	10	0	0	0	0
R3.4	85	84	1	0	0	0	0	0
R2.4	174	138	32	4	5	5	0	0
H31.4	204	181	18	5	21	19	2	0
H30.4	161	141	19	1	46	44	2	0
H29.4	107	78	28	6	0	0	0	0

●歳児別申込者数

令和5年4月

(人)

	定員	申込者	入所者	待機者
5歳児	607	555	547	8
4歳児	624	570	559	11
3歳児	607	556	549	7
2歳児	563	540	531	9
1歳児	518	493	465	28
0歳児	303	94	87	7
合計	3,222	2,808	2,738	70

令和4年4月

(人)

	定員	申込者	入所者	待機者
5歳児	600	549	532	17
4歳児	592	547	536	11
3歳児	570	567	551	16
2歳児	549	539	525	14
1歳児	494	492	460	32
0歳児	296	112	107	5
合計	3,101	2,806	2,711	95

●幼稚園園児数(各年度5月1日現在)

年度	28	29	30	31	R2	R3	R4	R5
定員	2,624	2,498	2,498	2,368	2,233	2,073	1,906	1,653
園児数	1,982	1,919	1,864	1,709	1,513	1,375	1,195	1,069
入所可能数	642	579	634	659	720	698	711	584

※5月1日学校基本調査より。R5年度は4月1日現在の利用園児数(市内園)

●認可園以外の施設(各年度4月1日現在)

年度	29	30	31	R2	R3	R4	R5
定員	178	194	241	231	228	209	210
園児数	178	116	135	144	117	115	112
入所可能数	54	78	106	87	111	94	98

※園児数には、市外在住者を含む。

(協働保育園)にじいる保育園

(企業主導型)QTPメロンハウス、カンガルーム掛川、アトリエアンサンプル保育園、
かけがわ竹の子保育園、かがやきのもり

(事業所内保育所)中東遠総合医療センター、掛川北病院、掛川東病院

掛川市記者会見 資料2-2

静岡県・静岡市・浜松市に続き

掛川市ひきこもり地域支援センター「きみいろ」開設

～生きづらさを抱えている方へ～

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・**珍しい**

【目的・概要】

ひきこもりの状態にある方や生きづらさを抱えている方の多くは、不安や深刻さが際立って思うようにいかないと感じており、安心でき、肯定されるつどいの場づくりが必要とされている。

このことから、ひきこもりの状態にある方や生きづらさを抱えている方、ご家族同士がリラックスして出会い、相談や交流を始め、社会とつながる伴走的支援を実施するため、ひきこもり地域支援センターを設置する。

【アピールポイント】

- ・令和4年度から県、政令指定都市以外で、より地域で幅広く支援をする目的で市町で実施することが可能となった、ひきこもり地域支援センターを設置する。
- ・ひきこもりの状態にある方や生きづらさを抱えている方、ご家族が相談でき、伴走的支援を実施する。
- ・ひきこもりの状態にある方や生きづらさを抱えている方の当事者が一歩踏み出すきっかけとなる。

- と き 令和5年4月3日(月)から開設
月曜日～金曜日(祝日除く)
午前9時～午後4時
- と ころ ・(月曜日、木曜日)掛川市中部ふくしあ内
・(火曜日、水曜日、金曜日)
掛川市大淵7615番地 株式会社 Be happy 内
掛川市ひきこもり地域支援センター「きみいろ」

- 3 事業主体 掛川市委託事業
- 4 対象者 社会的な居場所がない方、ひきこもり状態にある方や生きづらさを抱えている方・ご家族
- 5 事業内容
- ・ひきこもりの状態にある方や生きづらさを抱えている方、ご家族の相談窓口
 - ・ひきこもりの状態にある方や生きづらさを抱えている方宅への訪問相談
 - ・義務教育終了後に社会とのつながりが滞り「孤立」している方については、一人ひとりに寄り添い、その人らしさと尊厳を大切にしながら伴走的な支援をしていく
- 6 その他
- 7 駐車場 有 ・ 無 (場所)
- 8 資料の添付 有 ・ 無
-

■本件に関する担当者

福祉課 大久保 前田 (電話 0537-21-1215)

◆あなたの夢、◆
描いたつづきは
◆掛川で。◆

掛川市 記者会見資料 No.2-3

大河ドラマ効果 掛川城入場者倍増

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・**珍しい**

【概要】

掛川城天守閣の修復工事が完了し、令和5年4月1日から入館を再開しました。入館再開から来場者が急増し、大河ドラマ効果や修復したばかりの天守閣をひと目見たいというお客様で掛川城公園周辺が大いに賑わっています。

また、紫色による天守閣ライトアップ期間も大河ドラマの放映期間にあたる令和5年12月17日(日)まで好評につき延長することになりました。

【アピールポイント】

- ・「東海の名城」とうたわれた白い漆喰壁と黒い廻縁・高欄のコントラストが生み出す美しい景観が楽しめます。
- ・漆喰壁の部材として使用した土佐漆喰は、施工から6ヶ月程薄黄土色になるため、今だけしか見れない貴重な姿だと言われ多くのお客様にお越しいただいています。
- ・紫色による天守閣ライトアップ期間を令和5年4月9日(日)から12月17日(日)まで好評につき延長しました。(他事業で中断する場合を除く)

1 来場者推移

(1) 入館再開からの状況

(人)

	4/1 (土)	4/2 (日)	4/3 (月)	4/4 (火)	4/5 (水)	4/6 (木)	4/7 (金)	4/8 (土)	4/9 (日)	
来場者	1,627	1,428	711	555	357	190	138	873	858	6,737

(2) 過去の状況

(人)

平成31年4/6(土)	862	令和4年4/2(土)	870	令和5年3/25(土)	265
平成31年4/7(日)	1,014	令和4年4/3(日)	435	令和5年3/26(日)	352

2 紫色によるライトアップ期間の延長

と き：令和5年4月9日(日)から令和5年12月17日(日)まで

(他事業で中断する場合を除く)

■本件に関する担当者

文化・スポーツ振興課

文化政策係 西郷・石川 (電話 0537-21-1126)

観光交流課

観光交流係 神谷 (電話 0537-21-1121)

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

掛川市記者会見 資料3-1

「第31代掛川茶PRアンバサダー」6名が市長を表敬訪問

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・珍しい

【目的・概要】

令和5年4月1日から令和7年3月31日の2年間掛川茶のPR活動にご協力いただき「第31代掛川茶PRアンバサダー」6名が決定いたしました。新掛川茶PRアンバサダー6名が市長を表敬訪問いたします。

市長からPRアンバサダーへ認定証と副賞が授与されます。

また、PRアンバサダー代表2名による掛川茶振興協会正副会長への呈茶も行います。

【アピールポイント】

- ・令和5年2月25日（土）の面接審査会にて決定後、初のお披露目となります。
- ・第30代までは「掛川茶PRレディ」として女性のみを対象に募集・選考を行ってきましたが、今回からより多様な価値観から掛川茶をPRするため、名称を新たに「掛川茶PRアンバサダー」として、性別問わず募集・選考が行われました。
- ・同日15時より市役所5階の全員協議会室にて、掛川茶商青年団によるお茶の淹れ方教室も行います。
- ・掛川茶振興協会正副会長に代表2名が呈茶をします。

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | と き | 令和5年4月11日（火） 16時00分～16時50分 |
| 2 | と ころ | 掛川市役所 5階 庁議室 |
| 3 | 主 催 | 掛川茶振興協会 |
| 4 | 参 加 者 | 第31代掛川茶PRアンバサダー 6名（名簿は当日配布）、
掛川茶振興協会会長（掛川市長）、掛川茶振興協会副会長 3名ほか |
| 5 | 内 容 | 掛川茶PRアンバサダーが市長を表敬訪問
アンバサダーによる呈茶
認定証・副賞の授与 |
| 6 | そ の 他 | 同日15時から15時45分まで
掛川茶商青年団によるPRアンバサダーのお茶の淹れ方教室を開催
場所 掛川市役所 5階 全員協議会室 |
| 6 | 駐 車 場 | <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無（場 所）市役所報道用駐車場 |
| 7 | 資料の添付 | 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無（資料名） |

■本件に関する担当者

お茶振興課お茶振興係 青谷・萩田（電話 0537-21-1216）

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

掛川市観光振興計画を策定 訪れた人と暮らす人の感動と幸せの実感に向けて

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・珍しい

【目的・概要】

観光ニーズが多様化するなか、旅行者の心を惹きつけるには、掛川市の特性や資源を十分に活かした個性光る観光が、交流人口拡大と地域活性化の起爆剤と考えます。

平成30年度に策定した「掛川市観光振興計画」(R1～R10)から、DXの潮流や多様性への対応など急激に変化する観光情勢に対応するため、1年前倒しした令和4年度に中間見直しを実施しました。

今後も、実施主体者の創造性や推進力を市民・団体・企業・行政等が連携しながら本計画に基づく取組を進めていきます。

【アピールポイント】

- ・「掛川市観光振興計画策定委員会」を設置し、委員長には静岡県立大学の岩崎教授、副委員長には掛川観光協会の平野正俊会長に依頼し、石川副市長を含む全8名の委員会で3回の協議を実施しました。
- ・これまでの施設見学型の観光ではなく、掛川市特有の文化や人材などを活用しながら、体験と学びを通してリピーターと掛川ファンを増やすことをねらいとしています。
- ・通算24回の産地賞を誇る掛川茶を柱とし、学び、体験、グルメ、癒しなどと掛け合わせた取組を施策に盛り込んでいます。

計画の概要版は別紙のとおり

■本件に関する担当者
観光交流課観光交流係 神谷（電話 0537-21-1121）

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

掛川市観光振興計画

掛川市の特性や資源を十分に活かした個性光る観光で、魅力的な地域づくりを推進する取組が必要です。
H30年度に策定した「掛川市観光振興計画」(平成31年度-令和10年度)から、R4の中間見直しにより世界的な新型コロナウイルス感染症の流行やDXの潮流、多様性への対応など急激に変化する観光情勢に対応するように改定しました。

目標値と施策の体系図

基本理念

- 1 掛川市ならではの観光による魅力ある地域づくり
- 2 訪れる人・暮らす人が感動と幸せを実感する
- 3 掛川市の活力と市民の誇りを醸成する

スローガン

ひとたび・ふたたび「掛川」

施策の柱

- 1 体験交流と学び旅
- 2 掛川茶グルメの魅力向上
- 3 掛川茶を活用した癒しの提供
- 4 掛川駅の活用
- 5 持続可能な選ばれるまちを目指して

指標

指標	策定時 (H30年度)	中間値 (R3年度)	目標値 (R10年度)
観光交流客数	3,861千人	2,955千人	4,100千人
掛川観光協会HPへのアクセス数	687,621件	521,000件	712,000件
掛川市公式観光SNSのフォロワー数	1,785人	5,067人	40,000人

計画期間

令和5年度～令和10年度

指標と目標値

観光交流客数
4,100千人

掛川観光協会
ウェブサイトへの
アクセス数
712,000件

観光SNSの
フォロワー数
40,000人

指標

- お茶を活用した体験プログラム参加者数 300人
- 三城への来訪者数 160,000人/年
- 学びの機会の参加者数 20,000人/年
- 体験型プログラム参加者数 500人/年
- 自転車周遊ガイドツアーの継続
- 受入体制の確立
- 教育旅行の受入団体数 20団体/年
- ハイキングマップの作成
- 学びの機会の提供 5回/年
- 緑茶乾杯条例推奨店 17店舗→30店舗
- 掛川茶グルメを巡る茶印帳等の実施
- 粟ヶ岳登山途中で掛川茶の販売
- 茶園をゆったりと巡るプログラムの実施
- 粟ヶ岳で行われる体験プログラムの参加人数 300人/年
- 茶摘み体験受け入れ可能農園 5園
- 観光案内所のJNTO認定カテゴリー2維持
- 観光案内所のサービス拡充
- 掛川茶を飲む場所の設置
- 集客施設やイベント会社から観光・グルメ案内の実施
- 多目的トイレの整備
- 旅行消費額調査の実施
- AR/VRコンテンツアプリのダウンロード数 10,000件
- 観光モデルコースに食べ歩きコースを追加
- SNSで掛川茶グルメが発信された件数 1,000件
- SNSでの情報発信数 100件/年
- 掛川茶に特化したSNSでの情報発信数 100件/年

施策

- 1(1)お茶に関する体験交流プログラムの充実化
- 1(2)徳川家康と三城の繋がりを活用した学び旅
- 1(4)報徳の教えに関する学びの機会の充実
- 1(5)自然を活かした体験交流型ツーリズムの開発と普及
- 1(6)広い市域を活かした自転車周遊ガイドツアーの実施
- 1(7)学生等を対象とした学びの機会の提供
- 1(8)市民・地域ぐるみでの魅力の掘り起こし、及び受入体制の構築
- 2(1)掛川茶を使った地元グルメ・茶文化食文化の普及
- 3(1)掛川茶と癒し効果
- 3(2)茶産地で直接掛川茶に触れる体験型プログラムの充実
- 4(1)掛川市内及び周辺の観光案内とサービス
- 5(1)国内外の誰にでも安全・安心な観光地の確立
- 4(2)掛川茶による癒しと学びのまち掛川を感じる演出
- 4(3)周辺イベント時のおもてなしの充実
- 5(1)国内外の誰にでも安全・安心な観光地の確立
- 5(2)経済波及効果の調査
- 1(3)高天神城での歴史体験
- 4(1)掛川市内及び周辺の観光案内とサービス
- 2(1)掛川茶を使った地元グルメ・茶文化食文化の普及
- 4(1)掛川市内及び周辺の観光案内とサービス
- 4(2)掛川茶による癒しと学びのまち掛川を感じる演出

観光パンフレットを刷新 魅力的な掛川グルメを多数掲載

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・**珍しい**

【目的・概要】

これまで作成・配布していた大判観光パンフレットは、全観光施設が網羅的に掲載しているものでした。このパンフレットでは、全体から行き先を探すのには優れている一方、他自治体との差別化が図られていないため、例年通り増刷するのではなく内容を大幅に見直しました。

新しいパンフレットは、これまでのような主要な観光施設も掲載しつつ、旅行先を検討する中で重要視される「グルメ」を中心に据えて、目でも楽しんでいただける魅力的なパンフレットができました。



【アピールポイント】

- ・市内の団体やSNS等により、掛川市が誇るグルメ・スイーツを募集し、厳選して採用しています。
- ・掛川茶を使った魅力的なスイーツを掲載し、現地に行ってSNS等で拡散したくなる写真を多数載せています。
- ・いも汁や地ビールなど地場産品を紹介して、希少グルメも掲載しています。
- ・表紙には緑をテーマカラーに、茶畑の広がる風景写真を用い、また紙面冒頭で掛川茶及び掛川茶スイーツを紹介することで、掛川市が誇るお茶文化をPRしています。

1 発行部数 20,000部

2 特筆ページ

P3～4	掛川茶の魅力	掛川茶と茶摘み体験できる施設
P5～6	掛川茶スイーツ	掛川茶を使ったスイーツ
P7～8	掛川スイーツ	季節ごとに楽しめるスイーツ
P9～10	掛川ランチ	ゆっくり楽しめる贅沢ランチ
P11～12	ランチ・ディナー	地域食材を数多く取り入れた食事等
P13～14	アウトドア特集	ニーズの高いコト消費を中心
P15～16	キャンプ特集	ブームから趣味として定着したキャンプ

■本件に関する担当者

観光交流課観光交流係 柏當・神谷 (電話 0537-21-1121)

◆あなたの夢、
描いたつづきは
◆掛川で。◆

掛川市記者会見 資料3-3

JD. LEAGUE2023 シーズン開幕
NECプラットフォームズ女子ソフトボール部がホーム初戦に挑む

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・珍しい

【目的・概要】

4月から女子ソフトボールのリーグ「JD. LEAGUE」が開幕し、掛川市を拠点とするNECプラットフォームズ女子ソフトボール部Red Falcons（以下「レッドファルコンズ」）が同リーグに参戦します。

第3節1日目の4月29日（土）に、掛川いこいの広場野球場にてホームゲーム初戦を迎えます。

たくさんの方に訪れていただき、地元チームへの熱い応援をお願いします。

【アピールポイント】

- ・4月29日（土）、30日（日）の両日、レッドファルコンズをはじめ、4チームが集まり、掛川ホームゲームが開催されます。
- ・レッドファルコンズの初戦（29日第2試合）開始前に掛川市長によるファーストピッチセレモニー（始球式）が実施されます。

- 1 と き 令和5年4月29日（土） 午後1時30分
2 と ころ 掛川いこいの広場野球場
3 主 催 （一社）日本女子ソフトボールリーグ機構
4 内 容 レッドファルコンズの試合日程（第3節）

月日	曜日	時間	対戦相手
4月29日	土	午後1時30分	大垣ミナモ
4月30日	日	午後1時30分	日立

- 5 そ の 他 JDリーグの公式試合やイベントの取材には、事前にメディア登録が必要となりますのでご了承ください。 <https://jdleague.jp/mediaguide/>
- 6 駐 車 場 有 ・ 無
- 7 資料の添付 有 ・ 無（資料名）

■本件に関する担当者

文化・スポーツ振興課 片山・萩田（結）（電話 0537-21-1159）

◆あなたの夢、◆
描いたつづきは
◆掛川で。◆



浅井 茉琳
(大垣ミナモト)

大場 亜莉菜
(NECプラットフォームズ)

坂本 結愛
(日立)

濱村 ゆかり
(ビックカメラ高崎)

ニトリJD.LEAGUE 2023
4.15 (sat) - 10.29 (sun)

第3節 掛川いこいの広場野球場 試合日程

4.29 [sat]	10:30	日立 VS ビックカメラ	13:30	NEC VS 大垣ミナモト
	10:30	ビックカメラ VS 大垣ミナモト	13:30	NEC VS 日立
4.30 [sun]				

座種	前売料金	当日料金
大人	1,500円	2,000円
中学高校生	800円	1,300円
子ども	無料	

静岡県内
中高生
無料!

イベント情報
トピックス・
新着情報にて
随時更新!!

PARTNERS



掛川城ライトアップLED投光器 三菱電機照明株式会社から寄贈

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・珍しい

【目的・概要】

掛川市と環境分野のパートナーシップ協定を締結している三菱電機照明株式会社から、このたび掛川市のシンボルである掛川城をライトアップしているLED投光器2台を寄贈していただけることとなったため、寄贈並びに感謝状贈呈式を行います。概要等については、下記のとおりです。

【アピールポイント】

- 寄贈会社 三菱電機照明株式会社
- 寄贈品名 三菱電機照明株式会社LED投光器 2台寄贈
(1台を当日、披露予定)
- 製品価格 87万円相当
- 設置箇所 掛川城天守閣南東1台、北西1台
- 掛川城ライトアップ経過
 - 平成6年4月にふるさとの顔づくりとして掛川城天守閣の復元が進められた際にライトアップが計画され高演色のメタルハライド投光器16台を同社から寄贈していただいた。
 - 平成24年3月に北西及び南東のメタルハライド投光器をLED投光器3台に改修した。
 - 令和元年12月に電気消費量による電気料の削減、CO2削減という視点からLED化されていない南西及び北東、南東の計4台を寄贈していただいた。
 - 平成24年に改修したLED投光器のうち、老朽化した2台について今回寄贈いただいた。

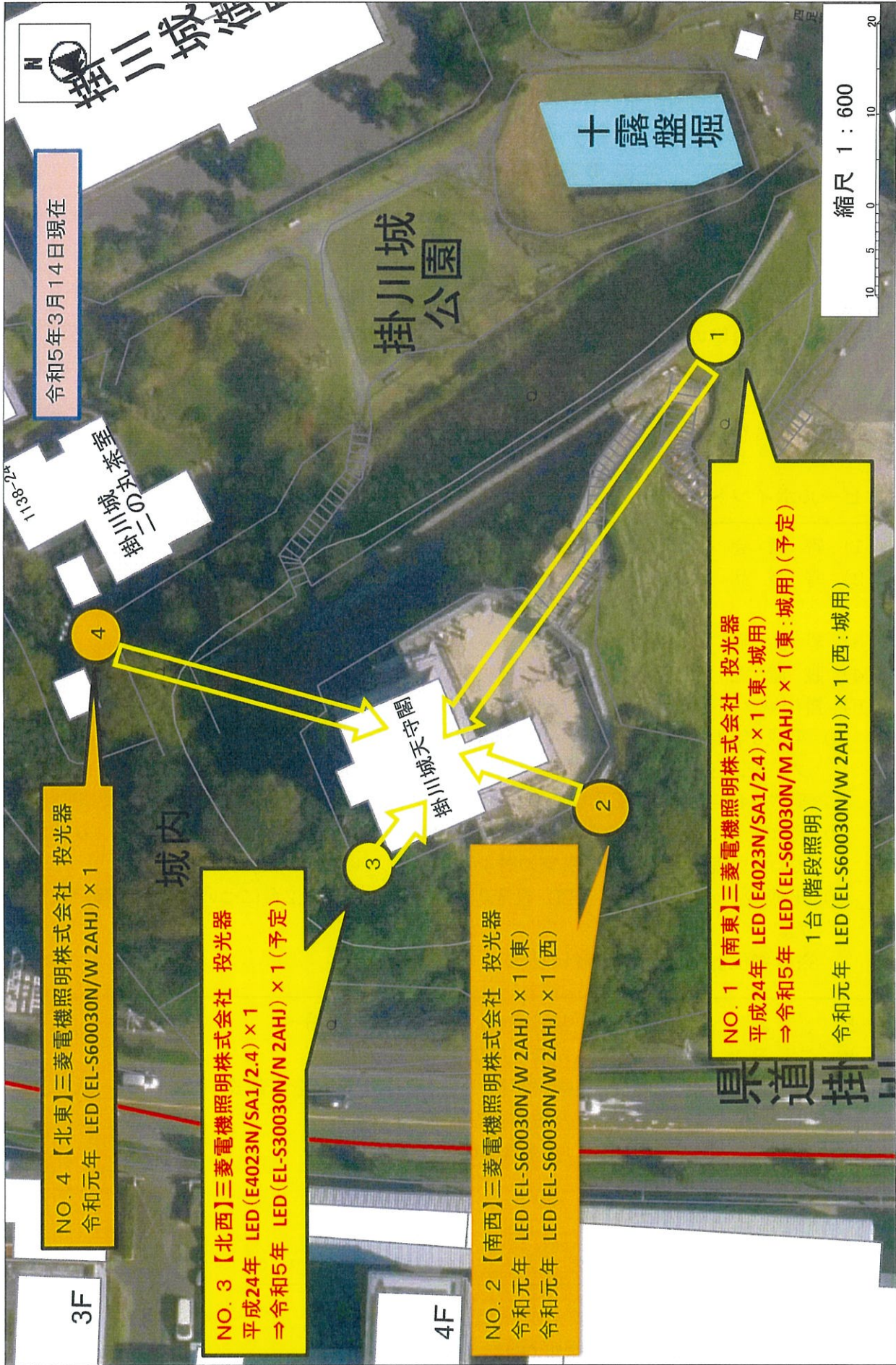
※詳細位置図は、別添資料のとおり

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | と き | 令和5年4月19日(水) 午前11時00分～ |
| 2 | と ころ | 掛川市役所 5階 庁議室 |
| 3 | 出 席 者 | 市長、三菱電機照明株式会社 取締役製造本部長 遠山一郎 氏ほか |
| 4 | 内 容 | LED投光器の寄贈並びに感謝状贈呈式 |
| 5 | 駐 車 場 | <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 (庁舎南側報道機関駐車場) |
| 6 | 資料の添付 | <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 |

■本件に関する担当者

維持管理課公園緑化係 宇田 (電話 0537-21-1154)

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。



令和5年3月14日現在

NO. 4 【北東】三菱電機照明株式会社 投光器
令和元年 LED (EL-S60030N/W 2AHJ) × 1

NO. 3 【北西】三菱電機照明株式会社 投光器
平成24年 LED (E4023N/SA1/2.4) × 1
⇒ 令和5年 LED (EL-S30030N/N 2AHJ) × 1 (予定)

NO. 2 【南西】三菱電機照明株式会社 投光器
令和元年 LED (EL-S60030N/W 2AHJ) × 1 (東)
令和元年 LED (EL-S60030N/W 2AHJ) × 1 (西)

NO. 1 【南東】三菱電機照明株式会社 投光器
平成24年 LED (E4023N/SA1/2.4) × 1 (東:城用)
⇒ 令和5年 LED (EL-S60030N/M 2AHJ) × 1 (東:城用) (予定)
1台 (階段照明)
令和元年 LED (EL-S60030N/W 2AHJ) × 1 (西:城用)

縮尺 1 : 600
0 5 10 20

1138-24

3F

4F

城内

掛川城公園

堀盤露十



掛川城

掛川城守天閣

掛川城茶室

掛川市道

掛川市記者会見 資料3-5

【SDGs達成に向けて加速】
(株)ホタルクスと包括連携協定締結及び
すこやかこども園へ防災用LED照明の贈呈式の実施

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・珍しい

【目的・概要】

掛川市と「株式会社ホタルクス（東京都港区）」は、協働のまちづくりの一層の推進を図り、SDGs達成等に向けた包括連携協定の締結式を下記の通り行います。この協定は、照明メーカーの(株)ホタルクスが持つ技術を活用し、脱炭素社会やカーボンニュートラルの推進ほか、女性が活躍できる環境作り等を図ることを目的に協定するものです。

また、公共施設における二酸化炭素排出抑制の一環として、同社から市立すこやかこども園へ防災用LED照明の寄贈を受ける贈呈式を実施します。

【アピールポイント】

- ・(株)ホタルクスは、掛川SDGsプラットフォームのパートナーです。
- ・寄贈されるLED照明は、バッテリーを内蔵することにより停電時にも点灯するため、省エネだけでなく防災面でも活用が期待されるものです。
- ・今後、同社が持つ光技術を活用した、防災、農業や観光等の施策についても、協定に基づいて推進を図ります。

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | と き | 令和5年4月20日(木) 午後5時00分～午後5時30分 |
| 2 | と ころ | すこやかこども園（掛川市宮脇2丁目6-1）ぱんだ組保育室
※正面玄関で受付に声をかけてからお入りください。 |
| 3 | 主 催 | 掛川市・(株)ホタルクス |
| 4 | 参 加 者 | 掛川市長、副市長
(株)ホタルクス代表取締役社長 山村修史 氏 ほか2名 |
| 5 | 内 容 | 包括連携に関する協定の締結及び市立すこやかこども園への防災用LED照明の贈呈式 |
| 6 | 駐 車 場 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 (場所) すこやかこども園駐車場 |
| 7 | 資料の添付 | 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 (資料名) 協定式及び贈呈式次第 |

■本件に関する担当者

企画政策課経営戦略係 西村・藤田 電話 (0537-21-1127)
環境政策課環境政策係 陸田・小澤 電話 (0537-21-1218)

◆あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。◆